



創立六十周年を祝して

同窓会会長 長谷川 孝



國學院大學栃木高等学校が創立六十周年を迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。この度同窓会では教育環境の充実、オンライン授業での活用として四十二の全クラスに大型モニターテレビを寄贈しました。

さて、昨年は十月の台風十九号により多くの方々が被災されました。皆様には心からお見舞い申し上げます。また、十月開催予定の二十七期生の三十周年集いの会が残念ながらその台風のため中止となりました。開催の準備をしてくださった役員、クラス幹事の皆様に御礼申し上げます。

ところで今年に入り新型コロナウイルスの影響により修学旅行の中止や三か月間の休校など生徒たちの学校生活が大きく変わりました。

た。同じく私たちの働き方も生活様式も変わりつつあります。しかし、どのような時代になっても私たちは「学ぶ心」と「仲間と共に集う心」を持ち続けたいと思います。

現在、同窓生は三万四千人を数え国内外のそれぞれの地域で活躍されております。昨年のラグビーワールドカップにおいて日本代表として田村優さん（四十五期生）が大活躍され、日本に元気を与えてくれました。これからも同窓生

としての絆を深めていきたいと思います。同窓生の皆様には益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げますと共に、母



発 行 者
國 學 院 大 學
栃 木 高 等 学 校 同 窓 会
(〒 328-8588)
栃木市平井町 608 番地
電話 0282-22-5511

第 43 号

新たな一歩を

学校長 青木 一男



本校は今年度六十周年を迎えました。近年、人工芝のラグビーグラウンド、男子寮「好文寮」を建設するなど施設はさらに充実、そして進学においても東京大学、国立大学医学部や早慶上智など数多くの難関大学に合格、部活動では、ラグビー部、バレーボール部、柔道部などが全国大会に連続出場、また多くの同窓生が実業家、学者、作家、プロスポーツ選手としてあらゆる分野で活躍、というように様々な面で着実に発展しています。これからは、日本全体で新たな教育改革が叫ばれる中、本校でも特に ICT 教育（同窓会には、大

型モニターテレビを四十二台寄贈いただき、ありがとうございます。現在、アメリカ、ドイツ、カンボジアなど多くの国々との国際交流を行っています。世界で活躍するグローバル人材の育成、そして、判断力、表現力、思考力などのこれから求められる力を育てるための授業改革など、教育の一層の充実を図っていききたいと思います。

ところで、その六十周年を迎える今年度ですが、ご存じのように、新型コロナウイルス感染拡大により、本校も昨年度三月から3か月の休校を余儀なくされました。その間、生徒たちは登校どころか外出も制限、常に感染の不安を抱え、緊張の日々を送ってきました。その上、修学旅行や國學院祭を始めとする数々の学校行事、部活動の目標としていた各種大会等が失われてしまい、本当に残念でなりません。しかし、その期間は、決してマイナスばかりではありませんでした。学校では、一斉配信メールやHPで随時、各家庭に情報を送りつつ、全教職員が、その状況下で生徒のために何ができるかを考え、アイデアを出し合い、実行してきました。まずは、5年前から取り組んできたWeb教材を使って課題を与えたり、それを活用して生徒とコミュニケーションを取ることを実施、加えて各教科や個人それぞれが自主的に他の通信アプリ

を駆使してオンライン授業、動画配信、面接などを行ってきました。そのため生徒たちは「学び」を継続することができ、また、教員たちと常につながり、特に担任とのつながりを強めていくことができました。ここには、教師が生徒のために何とかしようとする熱意、離れていても生徒に寄り添い、見守り、把握しようとする姿勢が表れており、それに素直に応える生徒たちがいたのです。これこそが目には見えないですが、本校が現在、最も大切にしている教育であり、六十年の中で培ってきたものなのです。今もウイルスの感染拡大は続いており、これからも感染予防に細心の注意を払わねばなりません。平常の生活が送れるようになるには、まだまだ時間がかかると思われますが、初代学校長佐々木周二先生は、こうおっしゃっています。「人は誰でも困難を乗り越えて今日まで生きてきている。そして困難を乗り越える度に人は強くなっていく。それはちょうど人間を強くするために困難があるようなものである」と。これからもコロナ禍だけではなく、様々な困難が待っているかもしれない。しかし、六十年という歴史を刻んできた國學院栃木の「教え」のもと、皆と共に知恵を絞り、汗を流して乗り越え、更なる高みに向かっていききたいと思います。

平成31年度同窓会一般会計収支決算
(令和元年度)

収入の部				
(単位:円)				
項 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減額	備 考
前年度繰越金	3,205,384	3,205,384	0	
入会金(本年度卒業生)	680,000	682,000	2,000	2,000円×341名
30年会費(本年度卒業生)	8,500,000	8,525,000	25,000	25,000円×341名
30年会費(既卒者)	1,000,000	839,840	△ 160,160	20,000円×41名 19,840円×1名
年会費(既卒者)	100,000	128,000	28,000	2,000円×54名 10,000円×2名
基金会計より繰り入れ	0	0	0	
雑 収 入	15,221	139,622	124,401	銀行預金1,722円・マフラー代130,900円 700円×197本
合 計	13,500,605	13,519,846	19,241	

支出の部					(単位:円)
	項 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減額	備 考
運営費	印刷費	170,000	115,920	54,080	総会案内状印刷 他
	通信費	2,000,000	1,774,279	225,721	会報送料 他
	消耗品費	300,000	204,081	95,919	事務用品・プリンタインク 他
	支払手数料	30,000	33,209	△ 3,209	振込手数料 他
	公租公課	0	0	0	
事業費	会議費	150,000	141,044	8,956	総会・本部役員会
	会報発行費	900,000	881,898	18,102	
	学園助成費	1,500,000	1,440,620	59,380	入試説明会用グッズ頒布品 他
	30年黒い・進路の会助成費	600,000	600,000	0	
	クラス会助成費	600,000	360,000	240,000	20,000円×18クラス
	補助費	600,000	538,633	61,367	08会主催の学生剣道大会・文化祭補助・ 永年勤続者記念 他
渉外費	記念品費	1,032,000	1,023,000	9,000	卒業記念品
	広告費・広報費	400,000	348,080	51,920	ケーブルTV・部活 等
慶弔費	甲子園出場後援費	0	0	0	
	御祝金	100,000	80,000	20,000	
	弔慰金	50,000	5,000	45,000	
	見舞金	20,000	0	20,000	
	通信費	20,000	4,455	15,545	
積立金	基金会計繰入金	0	0	0	
	部活動後援積立金	500,000	500,000	0	
	同窓会創立60周年記念事業 積立金	1,000,000	1,000,000	0	
	高校創立60周年記念事業 積立金	2,000,000	2,000,000	0	
	予 備 費	500,000	0	500,000	
	次年度繰越金	1,028,605	2,469,647	△ 1,441,042	
合 計		13,500,605	13,519,846	△ 19,241	

総収入額
総支出額
差引残高

13,519,846
11,050,198
2,469,647

令和2年度同窓会一般会計収支予算

収入の部				
(単位:円)				
項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減額	備 考
前年度繰越金	2,469,647	3,205,384	△ 735,737	
入会金(本年度卒業生)	840,000	680,000	160,000	2,000円×420名
30年会費(本年度卒業生)	10,500,000	8,500,000	2,000,000	25,000円×420名
30年会費(既卒者)	1,000,000	1,000,000	0	20,000円×50名
年会費(既卒者)	100,000	100,000	0	2,000円×50名
基金会計より繰り入れ	0	0	0	
雑 収 入	100,000	14,616	85,384	
合 計	15,009,647	13,500,000	1,509,647	

支出の部				(単位:円)	
	項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減額	備 考
運営費	印刷費	150,000	170,000	△ 20,000	務会案内状印刷 他
	通信費	2,000,000	2,000,000	0	会報送料 他
	消耗品費	300,000	300,000	0	事務用品・プリンタインク 他
	支払手数料	40,000	30,000	10,000	振込手数料 他
	公租公課	0	0	0	収入印紙
	会議費	150,000	150,000	0	総会・本部役員会・西役会
事業費	会報発行費	950,000	900,000	50,000	
	学園助成費	1,500,000	1,500,000	0	
	30年黒い・進路の会助成費	600,000	600,000	0	
	クラス会助成費	600,000	600,000	0	20,000円×30クラス
	補助費	600,000	600,000	0	
	記念品費	1,263,000	1,032,000	231,000	卒業記念品
渉外費	広告費・広報費	400,000	400,000	0	ケーブルTV・部活 他
慶弔費	御祝金	100,000	100,000	0	
	弔慰金	50,000	50,000	0	
	見舞金	20,000	20,000	0	
	通信費	20,000	20,000	0	
積立金	基金会計繰入金	0	0	0	
	部活動後援積立金	500,000	500,000	0	
	同窓会創立60周年記念事業 積立金	2,000,000	1,000,000	1,000,000	
	高校創立60周年記念事業 積立金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	
	予 備 費	1,000,000	500,000	500,000	
	次年度繰越金	1,766,647	1,028,000	738,647	
	合 計	15,009,647	13,500,000	1,509,647	

令和二年度

同窓会総会(幹事会)

毎年六月頃開催する総会ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止といたしました。そこで、次のような方法で議事を承認していただくことにしました。

まず、令和二年五月十一日会計監査を行いました。その報告を受け、五月十四日に四役会(会長・校長他十二名参加)を開き、総会資料を検討し、完成させました。本来次に、本部役員会を開催し協議の上、役員の皆様にご承認をいただくことになりましたが、やはり三十五名が一堂に会するのは避けたい方が良く、と四役会で決しましたので、書面表決とさせていただきます。その結果、本部役員の方全員のご承認をいただきましたので、六月十五日に、クラス幹事の皆さんに、ハガキでそれまでの経緯と総会中止をお知らせし、ご了承いただくことをお願いいたしました。

同窓会ホームページに、令和二年度総会資料を掲載しました。
この機会に、是非ご覧ください。



令和2年度同窓会本部役員・事務局

役員

相談役 木村 好成(理事長)
名誉会長 青木 一男(校長)
顧問 飯村 友季子(教頭)

本部役員

会 長 長谷川 孝(9期)
副 会 長 増山 一夫(5期) 佐藤 和男(5期)
柏崎 和己(7期) 荒川 浩幸(21期)
会 計 星野 充江(15期) 北井 達也(24期)
海老沼信子(31期)
会計監査 加藤 春美(7期) 山田 和美(25期)
総 務 山中日富美(22期)
理 事 吉田 和夫(5期) 大竹 幾子(5期)
神島 国治(7期) 神島 馨(9期)
福島 洋二(15期) 福島 正浩(16期)
片岡 弘美(16期) 川島 正光(17期)
高橋 俊一(17期) 敷下 和弘(17期)
若林 弘美(17期) 渡邊 俊夫(18期)
鎌倉 博幸(19期) 保戸山陽一(19期)
岩下 浩之(21期) 斎藤 健(21期)
増淵 宏和(22期) 柳田 章芳(23期)
飯沼 邦章(24期) 中村 亜紀(25期)
神山 拓之(29期) 漆原 康史(31期)

事務局

主 任 横地 夏彦(24期) 野村 拓矢(38期)※
田原 千晶(30期) 高山 洋太(46期)
木村 圭佑(41期) 塩谷 集冬(50期)
佐藤 鷹史(46期)※
長山 航貴(54期)※

※は新任者

令和元年度

退職教職員

令和二年三月末日をもって、定年やそれぞれの理由で、八名の教職員が退職されました。

《教員》

宇賀神忠靖

大垣 莊太郎

黒川 澄夫(六期)

黒羽 信五

小嶋 研一

福田 寿

若松 力也(四九期)

《職員》

今泉 洋子(六期)

お世話になりました、ありがとうございました。(五十音順)(一内は卒業期)

第二十七期生 「卒業三十周年 集いの会」の中止

二〇一九年十月十二日の台風十九号により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

私たちは集いの会開催に向けて、クラス幹事・実行委員全員で準備を進めましたが、台風十九号の接近で実施が中止で母校並びに関係者で話し合い、その結果、生命の安全を最優先に考え断腸の思いで中止といたしました。集めた参加費については、クオカードでの返金とさせていただきます、残金は全額台風災害義援金として栃木市に寄付させていただきます。次は「還暦の会」にて二十七期生の皆さんや恩師と再会できることを楽しみにしております。最後に、集いの会開催にお世話になりました母校の皆様に感謝申し上げます。

第十六期生 「還暦の集い」

新しい元号「令和」に変わり、十一月三日に、栃木市「サンプラザ」において、「第十六期生還暦の集い」を開催させていただきました。当日は、恩師の先生方や同窓会会長様を始め多くのご来賓のご臨席のもと、第十六期生、百四十名が一堂に集い、高校時代の懐かしい思い出話に花が咲きました。今回は、開催前に台風十九号の豪雨のため、栃木市をはじめ多くの地域で甚大な被害が発生しました。改めて被災されました皆様にお見舞い申し上げます。その中で、沢山の同窓生が集まり開催できたことは、同窓会会長様を始め、多くの皆様のご支援、ご協力があったことと思ひ、ここに厚く御礼申し上げます。

さて、第十六期生は、昭和五十年（一九七五）四月に入学し、昭和、平成、そして令和の時代を歩んで参りました。社会が大きく変わる中で、嬉しいことばかりでなく、多くの苦難もありました。私達がそれを乗り越えてこられたのは、母校、國學院大學栃木高等学校の校訓である「たくましく 直く明るく さわやかに」の教えです。更に、恩師の先生や同窓生の励ましに支えられて今日まで過ごしてきました。多くの皆様に感謝申し上げます。

還暦という人生の節目を迎えた今、「人生百年時代」に向けて、新たな目標を据えて、今までにできなかったことにも挑戦するなど、充実した日々を過ごしていきたい



村田 文雄

第二十八期生 「卒業三十周年 集いの会」の延期

今年度の「卒業三十周年集いの会」は、二十八期生が該当期です。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響は、ここでも例外なく訪れます。二十八期を代表する、鈴木貴之さんから、メッセージをいただきました。

五月三十日の初回顔合わせ及び打ち合わせを中止にいたしました。また、アンケートを実施し、二〇二〇年度内開催しない、二〇二一年十二月末までに開催することにクラス幹事の十五人の同意を確認いたしました。これからは来年開催に向けてクラス名簿の更新を進めて、COVID-19 の状況を考慮しながら会議を行い、開催時期を決めて行きたいと思ひます。

《三十年会費納入者芳名》

【平成三十一年度分】（敬称略）
氏名上の数字は卒業期（一）内は旧姓

- 二〇二〇年
9 森川玲子（大山）
3 岩澤直夫
5 鈴木恵子（青木）
5 田中君江（松本）
6 宮内久史
6 竹内富一
6 大豆生田節子（尾林）
10 島村聡
10 中山英夫
- 10 根本正紹
11 柏崎光行（伏木）
11 猪野弘行
11 成瀬洋子（今成）
13 唐木田悦子（坂村）
13 坂本詩季尾
15 早川富美子
15 松澤百合子（相島）
16 横塚多可士
16 岩井正夫

- 16 小野田裕子（加藤木）
16 鷹野政文
16 渡沼文江（森田）
16 柿沼圭子（中田）
15 齊藤雅夫
16 高橋広美
16 当麻成成
16 増田和浩
16 山口純子（菊元）
17 高野美江子（谷中）
17 堤崎利子（永嶋）
18 寺内紀男
19 金沢由紀裕
19 日向野浩子（木村）
20 栗原保典
20 原村勇二
20 平山公仁
21 大山純子（坂田）
21 高橋輝明
21 田中富太郎
21 寺田光恵
22 大橋健一
22 門井明美（小林）
22 比護純子（関塚）
22 福富ふさ江（飯塚）
22 宮田泰夫
23 山口淑子
24 新島郁代（佐山）
25 慶野道則
25 須田三起（飯島）
25 中島正高
26 小池玉恵
26 田邊日出幸
26 初見武英
26 降旗裕生
- 13 吉田好伸
14 渡沼文江（森田）
15 柿沼圭子（中田）
15 齊藤雅夫
16 高橋広美
16 当麻成成
16 増田和浩
16 山口純子（菊元）
17 高野美江子（谷中）
17 堤崎利子（永嶋）
18 寺内紀男
19 金沢由紀裕
19 日向野浩子（木村）
20 栗原保典
20 原村勇二
20 平山公仁
21 大山純子（坂田）
21 高橋輝明
21 田中富太郎
21 寺田光恵
22 大橋健一
22 門井明美（小林）
22 比護純子（関塚）
22 福富ふさ江（飯塚）
22 宮田泰夫
23 山口淑子
24 新島郁代（佐山）
25 慶野道則
25 須田三起（飯島）
25 中島正高
26 小池玉恵
26 田邊日出幸
26 初見武英
26 降旗裕生

◎30年会費納入のお願い◎
卒業して30年を過ぎた同窓生の皆様に、30年会費のご協力をお願いいたします。今年度は、27期生以前の方に案内いたします。既にお振り込みいただいた方には用紙等は送付しておりませんが、行き違いの際は、お手数でもご連絡くださいますようお願い申し上げます。

第一期生の集い

大栗 利夫

平成三十一年四月二十一日(日)、ホテルサンルート栃木に於いて、第一期生集いの会を開催いたしました。恩師石塚透先生・西村俊太郎先生のご臨席の元、逝去された恩師・同期二十二名に対して黙祷を捧げ年月の経過を痛感しました。懐かしい校歌斉唱、来賓挨拶、小林様の乾杯の後、それぞれの現況等を報告しながら楽しく会食し、皆さんが元気に参加できたことを喜び合い、再会を期して閉会となりました。

改めて開催に尽力された世話人の権田、石川、小野口、鈴木、仁戸部の皆様に心より感謝申し上げます。最後に母校國學院大學栃木高等学校・同窓会の発展とご繁栄をご祈念申し上げます。

なお、次回は令和三年四月を予定しておりますので、多くの同期生の参加をお願いいたします。



中高一貫 第一期生の集い

高平 由樹

私たち中高一貫組一期生は、二〇一九年の年末、大宮駅近くの飲食店に集まり同窓会を開催いたしました。

それぞれ三十歳代後半に差し掛かり、様々な事情がありながらも二十名が集まることができました。そしてなんと、お忙しい中、中高六年間担任としてお世話になった青木一男先生にもご参加いただくことができました。

当日は久しぶりに会う友人もたくさんいましたが、離れていた数年の時間も感じない程、すぐに話に花が咲き、いたるところで笑い声が湧き上がり、あつという間の数時間でした。私たち一期生は、以前からグループLINEを作って情報交換をしていたのですが、各々が撮った写真をアルバムに共有し、思い出として残しています。当日参加できなかった友人たちもリアルタイムで写真を見ることができて、喜んでくれていたと思います。

あの時はまさかコロナで今のようない状態になるとは思ってもせず、「また夏頃集まろう!」と解散しました。また、この会報が届く頃にグループLINEで話が盛り上がることを思います。



ともたくさんあると思いますが、國學院栃木学園の先生方、卒業生の皆様、そして在校生の皆様のご健康をご祈念いたします。

書籍寄贈 十六期

黒川伊保子さん

十六期生の人工知能研究者である黒川伊保子さんから、著書が、母校の後輩にと寄贈されました。黒川さんは、コンピュータメーカーにてAI(人工知能)の研究開発に携わり、二〇〇三年株式会社感性リサーチを設立されました。ことばの潜在脳効果の数値化に成功した、感性分析の第一人者です。また、男女の「とっさの」脳の使い方の違いの発見から、コミュニケーションの極意を示唆した著書も多く、今回寄贈された書籍にも、興味を引くタイトルが多数ありました。

「母校の若い方たちが私の本に出会って、少しでも生きるヒントを見つけてくれたら、本当に嬉しいです」と添えられていました。



令和元年度 クラス会開催一覧



令和元年 5 月 11 日(土)
普 3 - 10 (16 期・S 53 卒)



令和元年 7 月 6 日(土)
普 3 - 11 (24 期・S 61 卒)



令和元年 10 月 5 日(土)
普 3 - 3 (13 期・S 50 卒)



令和元年 10 月 18 日(金)
普 3 - 10 (14 期・S 51 卒)



令和元年 10 月 27 日(日)
商 3 - 3 (11 期・S 48 卒)



令和元年 11 月 2 日(土)
普 3 - 4 (26 期・S 63 卒)



令和元年 12 月 14 日(土)
普 3 - 2 (27 期・H 1 卒)



令和元年 12 月 29 日(日)
T 3 - 1・2 (42 期・H 16 卒)



令和元年 12 月 30 日(月)
S 3 - 1 (53 期・H 27 卒)



令和 2 年 1 月 4 日(土)
普 3 - 3 (27 期・H 1 卒)



令和 2 年 1 月 25 日(土)
商 3 - 1 (27 期・H 1 卒)



令和 2 年 2 月 8 日(土)
商 3 - 2 (27 期・H 1 卒)

写真掲載無 令和 2 年 5 月 18 日(土) 普 2 - 10 (26 期・S 63 卒)



合計 18 クラスに補助することが出来ました。(1 期生 3 クラス、中高一貫 1 期生 2 クラス含む)

◎クラス会は、1 年生から 3 年生まで、どのクラスも対象となりますので是非お申し込みください。
◎クラス会・還暦の会は、いずれも所定の書類による事前申請が必要です。まずはお問い合わせください。
電 話：0282 - 22 - 5511 (学校代表) F A X：0282 - 22 - 2822
メール：yamanaka@kokugakuintoichi.ac.jp 総務：山中



会員だより

このたび、五期・商業科一期生の市澤孝一さんが、旭日単光章を受賞されました。板倉町商工会長などを歴任され、長年にわたり地域商工業発展のため尽力された功績が認められたのです。喜びのこたえをお届けすると共に、高校生活を振り返っていただきました。三枝慶之さんは、平成八年開設の中学校、中高一貫一期生で、海外で活躍する卒業生の一人でもあり、現在はシンガポールにお住まいです。国外にいるからこそ感じたことをお寄せいただきました。

旭日単光章受賞にあたり

商業科一期生 市澤 孝一さん



区の青年部の活動を勉強させていただきました。

ここで、五十数年前の高校生活の思い出を少しお話しいたします。

令和元年秋の叙勲において、はからずも旭日単光章の荣誉に浴することとなりました。昨年十二月十二日に勲記・勲章の伝達を受け、引き続き皇居に参内し天皇陛下に拝謁の栄を賜り、感激の極みでございました。

振り返れば、二十二才で事業を始めて板倉町商工会に入会、青年部活動に参加し地元商工会の若い仲間と地域活性を目指し活動をしてまいりました。

町内の花火大会や桜の名所に提灯を付け、町内外の人達に夜桜を楽しんでいただきました。そして、東毛地区代表として県内の商工会青年部と交流を深めながら、各地

おります。商業科に学び、今の道に入りこまで人生を歩んでこられたのも、茅島先生始め多くの先生方の教えと感謝しております。

平成元年から商工会理事として、親会に参加し、平成十三年副会長、平成二十一年同会長に就任いたしました。長い商工会活動の中で印象に残ったことを2、3件紹介させていただきます。ひとつは、国の予算について労務改善協議会を設置して、一社ではできない福利厚生を協議会参加企業と共に永年勤続表彰やボウリング大会・スキーバスツアー・ハイキング等を行い、各社の社員定着向上に努めました。もう一つは、町内商店の活性を図るため町行政の協力を得て、地域商品券の発行や町の文化協会と協力しての文化祭、併せて商工祭を開催し多くの町民の方々に各企業のPRや物品の販売を行いました。

色々な事業を通して、各商工業会員の発展を目指し、そのきっかけとなる事業を皆様のご支援とご協力を得て進めてまいりました。

会長職は、平成二十八年に退任いたしました。これからも、この受賞を励みに、『生涯現役』を目指し、地域の発展を願いつつ進んでまいりたいと思います。

結びに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

「新しい日常」で求められること

中高一貫第一期生 三枝 慶之さん

私は國學院大學栃木中学校一期生として入学し、現在、学校長先生になられている当時担任の青木一男先生の影響で、当時から英語に興味を持ちました。その在学中に思いは膨らみ、将来グローバルな環境に身を置きたく米国の大学へ進学しました。中東ドバイでの駐在等を経て、現在は久光製薬(株)シンガポール支店で日本の治療薬を広める仕事をしています。シンガポールは東南アジアに位置します。人口わずか五百六十万人でありながら他民族国家、中華・マレー・インド系など異なる人々が共存する国です。人気がある旅行先ですので、行ったことがある方も多くいると思います。様々な面を持ち、聞く人によって印象が異なるところもこの国の魅力のひとつかもしれません。このような地で日本の薬の良さを伝えていくことに、やりがいを持って取り組んでいます。

ところが、コロナ禍により世界は一変し、シンガポールも例外なく生活をする上での障害が多々出ました。子供たちもソーシャルディスタンス、マスク着用など、慣れない「新しい日常」に戸惑いながら毎日通園・通学していま



創立六十周年事業

國學院大學栃木学園は、昭和三十一年に高等学校の創立から今年度六十周年を迎えました。事業費積立金の使い途については、母校の意見を参考にし、次の二件とい

①吹奏楽部記念コンサートへの協賛 二十万円

五月三日に開催予定でしたが、延期をし、来年度同じ時期に開催できるよう調整中とのことです。

②液晶モニターテレビ・アコースティック 九百八十万円

昨年度の卒業式・今年度の入学式は、来賓や保護者の皆様は参列できず、生徒達は各教室で放送により式を行いました。同窓会入会式も同様で、その際長谷川会長は、テレビ中継ができれば良いのに、と感じたそうです。母校の環境を整え、後輩となる生徒のためにという思いから寄贈いたしました。



母校のようす

文化部

・箏曲部

昭和五十五年
同好会から部に昇格した箏曲部は、



毎年創立記念奉告祭で神前神楽「浦安の舞」を披露している。現在の活動は、週に三回。月曜日には、講師の丹野井弘寿先生のご指導を受け、研鑽を積み、文化祭や県の発表会の他、最近では栃木市の文化祭にも出演し、演奏を行っている。

・演劇部

一時期は部員がおらず、休部の状態であった演劇部は、平成二十八年に復活して活動している。現在は文化祭が最も大きな発表の場となっているが、その他にも昨年度、一昨年度は栃木市高校合同文化祭にも出演した。部員たちは全国にもつながる大会に出場することを目標として頑張っている。

運動部

・柔道部

奈良信幸選手（三年）五位入賞



八月九日（金）十三日（火）、鹿児島アリーナにてインターハイ柔道競技が行われた。その中で個人戦90kg級で出場した奈良信幸選手は気迫溢れる試合でノーシードから五位入賞を果たした。

・バレーボール部

ビヨONSE選手（三年）優秀選手賞受賞



七月二十五日（木）二十八日（日）、早水公園体育文化センターにてインターハイ女子バレーボール競技が行われた。予選グループ戦は岐阜商業高校に快勝し、決勝トーナメントへ進んだ。決勝トーナメント三回戦は、強豪、下北沢成徳高校（東京）に勝ちきれず、ベスト16となった。なお、チュク・ビヨONSE・サトミ選手は優秀選手賞を受賞した。

ラグビー部

七人制全国大会準V

本校ラグビー部は七月二十日（土）二十二日（月）に菅平高原サニパークにて行われた第六回全国高等学校七人制ラグビーフットボール大会に出場し、準優勝という結果を収めた。決勝トーナメントでは、流通経済柏高校や報徳学園といった強豪校を撃破し、創部以来初めての全国大会決勝へと駒を進めた。桐蔭学園高校との決勝は、二点差まで詰め寄ったが一步及ばず惜敗した。



突破する北村瞬太郎主将。決勝桐蔭学園戦

令和二年度大会報告

新型コロナウイルス感染拡大のため夏の甲子園、インターハイが中止となりましたが、各競技において代替大会が行われました。日程、結果は左記の通りです。

・野球部

二〇二〇栃木県高等学校野球交流大会
日時：七月二十六日、八月三日

場所：栃木県運動公園野球場
結果：ベスト8（今回はベスト8が最高で、その先の試合はありませんでした。）

・ハンドボール部（男女）

「令和二年度栃木県ハンドボールファイナルカップ」
日時：七月二十三・二十四日
場所：栃木市運動公園体育館
結果：男子 準優勝
女子 四位

・テニス部

「令和二年度栃木県テニス協会高等学校特別大会」
日時：令和二年七月二十四・二十五日
場所：栃木県総合運動公園

◆全国高等学校総合体育大会二〇一九 インターハイ出場部一覧

・柔道部

男子 団体（七年ぶり十九度目）

女子 個人 二階級出場
団体（十年連続）
個人 五階級出場

・なぎなた部

個人・演技・団体

・男子ハンドボール部

（二十一年連続四十一度目）

・女子バレーボール部

（九年連続三十三度目）

・男子陸上競技

800m

・女子陸上競技部

400m・4×100mリレー・4×400mリレー

令和3年度 中学校・高等学校 生徒募集について

高 校

FOR YOUR FUTURE 未来を拓く

国栃チャレンジ (学力診断テスト)

10月11日(日) 場所／本校キャンパス・学園教育センター(栃木駅前)

入試の雰囲気を経験しながら、学力到達度を判定します。

【判定】①現在の学力(得点・順位等) ②本校の各コースへの合格可能性

【受験型】5教科型または3教科型選択 【受験料】無料

入試説明・相談会

① 9月26日(土) ② 10月25日(日) ③ 11月3日(火・祝)

④ 11月15日(日) ⑤ 11月23日(月・祝)

⑥ 12月5日(土) ⑦ 12月13日(日)

時間／9:30～ ※12月5日(土)のみ14:00～

場所／本校キャンパス ※⑥⑦は学園教育センター(栃木駅前)

入学試験

第1回 1月6日(水) 一般入試(単願・併願)

推薦入試(単願)

体育技能入試(単願)

第2回 1月7日(木) 一般入試(単願・併願)

第3回 1月30日(土) 一般入試(単願・併願)



中 学 校

Challenge! 可能性に挑戦

入試説明・相談会

① 8月23日(日) ② 9月12日(土) ③ 9月26日(土)

④ 10月10日(土) ⑤ 10月25日(日) ⑥ 11月3日(火・祝)

時間／10:00～ 場所／本校キャンパス

入学試験

第1回 11月28日(土) 自己推薦入試(単願)

一般入試(単願・併願)

第2回 12月12日(土) 自己推薦入試(単願)

一般入試(単願・併願)

英語入試(単願・併願)

適性検査入試(単願・併願)

第3回 1月23日(土) 自己推薦入試(単願)

一般入試(単願・併願)



國學院祭(中止)

文化祭 → 文化部発表会 9月5日(土)

場所／本校キャンパス

体育祭 → 校内競技大会 10月14日(水)

場所／本校キャンパス

※なお、変更となった行事は一般公開はせず、校内のみの実施となります。